

職場は家族



恵那市役所 市民サービス部
保険年金課長

籠橋 美憲

「おはようございます」、「挨拶を徹底します」、「笑顔で明るく応対します」、「健康づくりに励みます」、市民サービス部の朝の唱和です。現在は、新型コロナウイルス感染症対策（三密防止）のため、朝礼・ラジオ体操・夕礼は、中止されています。以前、恵那市の郷土の先人「佐藤一斎」の「言志四録」を唱和していたこともありました。

本年4月から市民サービス部保険年金課長を拝命しました。平成27年度まで市民福祉部保険年金課課長補佐兼係長として、運協、保険料算定、予算決算等の事務を担当していました。

恵那市には、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀ゆかりの地の明智町の古き時代の町並みを保存した「日本大正村」、連続テレビ小説「半分、青い。」のロケ地、日本三大山城「岩村城跡」と国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された城下町、今年リニューアルした風光明媚な木曽川の景勝地「恵那峡」、そば打ち体験ができる「そばの郷道の駅らっせいみさと」などに沢山の方にお越しいただいています。

本年度、保険年金課は、組織改革により福祉医療を分離、レセプト点検を委託し保険年金係1係として国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事務を課長補佐以下8名の精鋭と会計年度職員2名で頑張っております。保健指導事業は、健幸推進課の保健師、管理栄養士の兼務と会計年度職員により行っています。5月1日現在、当市の人口は49,564人、国保被保険者10,445人（前年比△4.19%）、加入率21.1%（前年比+0.3%）、保険料算定は、平成30年度に資産割を廃止し、県が示す標準保険料率により所得割・均等割・平等割額の三方式にて国民健康保険基金を活用し3年間保険料率を据え置き、健全な国保会計の運営に努めて

おります。

令和元年度収納率は、95.81%（現年度分前年比+0.30%）と横ばいの状況、特定健診の受診率は43.9%（7月現在 前年と同じ）と、近年は上昇傾向にあります。目標値にはまだ及んでいません。また、当市は、血圧が高い方が多いと言われ、収縮期180/拡張期110以上の方の割合が県下1位。肥満はないけれど高血圧や高血糖（高HbA1c）、脂質異常がある方が多い状況です。このような中、一層の健康づくり事業の展開が求められています。

また、月末の日曜日の休日開庁のほか、コロナ対策と多様な働き方を推進するため時差勤務を取り入れ、開庁時間を午前8時から午後6時まで延長し、窓口混雑を避け、お客様を分散し安心して利用いただいています。また、当部は部名の通り、全庁での新しいサービスの在り方を検討し、「まよわせない」、「またせない」、「書かせない」のワンストップ窓口を構築し、お客様と対面する窓口サービスを大切にしながらも今後はICTを活用した時間、場所にとらわれないサービスを進めていきます。

私も50代後半に差し掛かり、健康づくり、特に生活習慣病予防には敏感になってきました。アルコール量を減らし、ウォーキング、家庭菜園、コシヒカリの栽培と健康で、笑顔で市民の方に接し仕事ができることに感謝したいと思っています。4月の多忙な窓口、コロナの影響による特定健診の延期、職員の分散執務、運協の書面決議、納通発送、納付相談と職員の頑張りで嵐のような年度初めは、1年が過ぎたと思う日々でした。職場は家族。どんなことも越えてゆける家族に感謝し、知恵を出し合い、気遣い、助け合い、健康に留意して満足していただける市民サービスを提供したいと思います。